



# BUSINESS REPORT

## FUJI ビジネスリポート

第43期 - 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで -

株式会社 藤商事



JASDAQ  
(証券コード 6257)

ここに、愛があるアイデアがある。

●●● ヒト味違う“オモシロ”さ!  
FUJI FUJI

There are ideas.

ヒト味違う発想で夢を描いていきます。

パチンコ遊技機  
「CR エイリアンVSプレデター」



パチンコ遊技機  
「CR 千昌夫」



パチンコ遊技機  
「CR 宇宙戦艦ヤマト」



Alien vs. Predator TM & © 2007 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved.  
Produced Under License by Cross Media International, LLC



CMI  
CROSS MEDIA

©東北新社

©千昌夫



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
ここに第43期ビジネスレポートをお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当事業年度のパチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコ参加人口の減少傾向が続いており、依然として回復には至っておりません。また、パチスロ遊技機におきましては、新規則対応機の稼働が伸び悩み、パチンコホールにおいて設置台数は減少に転じております。

このような状況において、当社では、企業理念であります「お客様の繁栄を売ろう」のもと、プレーヤーとホール様双方にご満足して頂ける遊技機づくりに努めるとともに、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロ”さ!」を実現する行動姿勢をもって、ストーリー性・ゲーム性を徹底的に追求してまいりました。

これにより、当事業年度の下半期には、新本体枠とともに「CR宇宙戦艦ヤマト」を市場に投入し、当社発売のパチンコ遊技機としては過去最高の8万5千台を販売することができました。

私たちは、安定した業績の確保はもちろん、ヒットシリーズの継続的な創出に向けて、マーケット・ニーズを吸収し、スピーディーに商品開発へフィードバックすることに全力で取り組み、幅広いファン層から共感を得られる機種を次々と生み出してまいります。

株主の皆様には、今後とも私たちの活動にご期待とご支援をいただきますよう、お願いいたします。

平成20年6月  
代表取締役社長  
松元 邦夫

## 2つの施策を軸に、競争力の強化に取り組んでいます。

近年の遊技機市場におきましては、同一商戦時期における機種間の販売台数の格差が拡大傾向にあります。そのため、どの商戦時期においても、常にトップクラスを狙える商品性を備えた遊技機の提供が重要となっています。

このような状況の中、当社としましては、ファンの皆様が「面白い、楽しい、何度打っても飽きない」と感じていただけるような機種を素早く開発・販売できる体制を構築し、販売シェアの拡大とともに、遊技機メーカーとしてのブランドを確立することが必要不可欠だと考えます。

そして、今、当社がメーカー間の競争に勝ち抜いていくため、2つの重点施策に取り組んでいます。

### 競争力の強化に向けた2つの重点施策

- ① 「ヒト味違う」商品性のスピーディーな実現
- ② 業績計画の着実な達成
  - 販売計画の達成
  - 利益率の向上
  - 瞬発力ある部材調達・生産体制の構築

1つ目は、「ヒト味違う」商品性のスピーディーな実現です。従来の概念にとらわれない「ヒト味違う」商品性を生み出すため、多面的な情報収集によるマーケットニーズの分析を行い、斬新なアイデアと著作権コンテンツの世界観を融合した、魅力あふれる遊技機づくりを追求してまいります。こうした活動は、昨年に新設した企画部が中心となって進めています。

2つ目には、業績計画の着実な達成です。この施策に対しては、「販売計画の達成」「利益率の向上」「瞬発力ある部材調達・生産体制の構築」という3つのポイントから推進しています。

まず初めは「販売計画の達成」ですが、全国19拠点の販売網をフルに活用しながら、各商戦における競合機種の分析のもと、当社製品のセールスポイントを効果的にアピールした販売活動を進めています。

続いて「利益率の向上」につきましては、遊技機の高機能化・高性能化に伴う製造コストの上昇傾向を受け、各部門によるコスト低減活動を展開しています。例えば、開発部門では、遊技機の商品性を維持しつつ、コスト削減を実現する効率的な設計に取り組んでいます。

最後は「瞬発力ある部材調達・生産体制の構築」です。昨年に日産4,000台対応のパチンコ新枠ラインを導入し、品質の向上とともに短納期が可能となりました。

しかし、受注・製造・出荷過程においては、さらなる効率性、品質向上に向けた改善が必要と考えております。より強固な生産体制を築くために、今後も継続的な改善活動を実施していく考えです。部材調達に関しましては、リードタイムの短縮化を目標に、タイムリーで無駄の生じない供給体制の構築を進めてまいります。

これらの競争力の強化に向けた取り組みにより、上位メーカーグループの一員としての地位確立をめざします。

## パチスロ事業体制の強化にも尽力しています。

パチスロ遊技機におきましては、5号機全体の稼働停滞により、パチンコ遊技機同様の高稼働をキープできる商品力が求められています。そのため、当社は、ゲーム性・スペックなどに関する複数の評価プロセスを実施し、開発に反映しています。また、外部協力会社との連携を強化し、ファンのニーズに対応したパチスロの創出を推し進めています。

私たちは、パチンコ・パチスロ両事業の拡大に努めることにより、株主の皆様の期待にお応えできる企業へ成長していきたいと考えています。

なお、当社は企業価値の向上とともに株主の皆様に適正な利益還元を図ることを経営の最重要課題と位置づけ、配当につきましては継続した配当を基本方針としつつ、経営成績および配当性向などを総合的に勘案して実施してまいりたいと考えております。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。





## 藤商事の総力を結集した「CR宇宙戦艦ヤマト」が過去最高の8万5千台の販売となりました！

「CR宇宙戦艦ヤマト」はパチンコファン、パチンコホールの皆様からのご支持をいただき、当社パチンコ遊技機としては過去最高の8万5千台の販売実績を確立できました。これからも、皆様のご期待に応える魅力あふれる遊技機を提供してまいります。

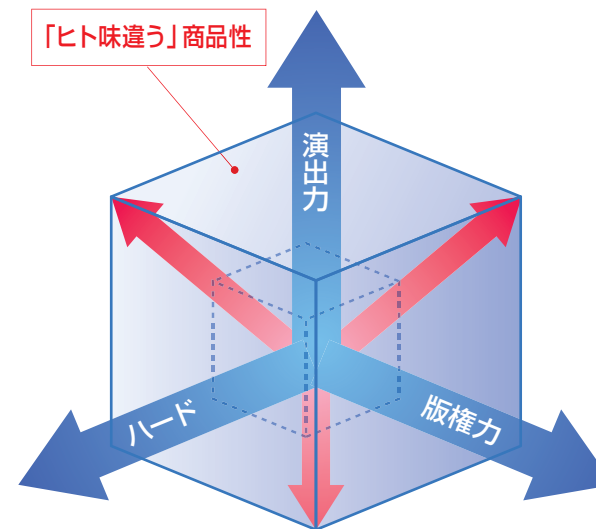


## 3つの領域から取り組む、「ヒト味違う」商品性の実現。

藤商事は、今まで培ってきた技術・経験をベースに、「演出力」「著作権力」「ハード」の3つの領域を融合させた新機種開発に取り組んでいます。その礎となるのは、役員・社員一人ひとりが、ものづくりに対するチャレンジ精神を持ち続けること。「ヒト味違う」商品性を実現するため、今後さらに積極的な活動を推進していきます。

### 「演出力」「著作権力」「ハード」の見直しによる商品性の向上

イメージ図



### 演出力

商品企画のトータルプロデュースを担当する企画部が本格的に始動。ファンの皆様が、「面白い、楽しい、何度打っても飽きない」と感じていただけるような、長期稼働を可能とする商品性を実現するために、先行企画の立案・試作、特別テーマへの取り組みなどを実施しています。デザイン・音声・シナリオなど、各分野の専門家とも連携し、商品開発を加速してまいります。

### 著作権力

著作権などの権利関係を統括管理するライセンス課が中心となり、多方面から有力著作権に関する情報を収集。パチンコ本来のゲーム性と有力著作権の持つ世界観を効果的に融合し、新たなヒット著作権シリーズの創出に努めています。

### ハード

高性能映像出力デバイスを採用し、ハイクオリティな映像・動画表現を実現。盤面領域の拡大と高性能スピーカーを採り入れた新本体枠のメリットを最大限に活かし、多彩な演出を実現してまいります。

## 経営成績に関する分析

### 当期の経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、前半は企業の輸出や生産に底堅さが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、後半は米国のサブプライムローン問題に端を発した株価の大幅な下落や、原油や穀物などの価格高騰に伴い、企業収益や個人消費に与える影響などが懸念され、景気の先行きに対する不透明感が強まりました。

パチンコホール業界は、低貸玉営業など営業方法の多様化や、手軽に遊べる遊技機の導入促進など、業界をあげて活性化策に取り組んでまいりました。しかしながら、平成18年度のパチンコ参加人口は前年比約50万人減少の1,660万人（(財)社会経済生産性本部「レジャー白書」）となるなど、依然としてファン人口に回復の兆しが見られず、他店舗との差別化、集客力の強化が求められております。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機では話題性の高い有力版權とともに、版權の魅力を活かした遊技機スペックや演出効果の重要性が一段と高まっております。

また、新機種発売のプロモーション戦略として、一部の

有力機種を中心にファンの皆様に直接アプローチするテレビCMを積極的に展開することで話題性を高め、販売に結びつけると同時に、パチンコホールの営業活動を支援する動きも活発化しました。

一方、パチスロ遊技機では、新規則対応機の稼働の伸び悩みなどから、パチスロ専門店の減少とともに、併設店におきましてもパチスロ遊技機の設置比率を下げる動きも見られました。

このような状況のもと当社は、急速に変化する市場環境をふまえ、年齢・性別を問わず、幅広いファン層に対応した魅力あふれるゲーム性を追求することにより、商品性の向上に努めてまいりました。

当事業年度の業績につきましては、パチンコ遊技機では競合他社との厳しい商戦が続くなか、特に上半期は下半期からの新本体枠投入期待による当社製品の買い控えや、大量導入に結びつくヒット機種を投入することができず、利益面では大幅な損失となりました。

下半期には、このような上半期の状況を挽回すべく、新本体枠とともに「CR宇宙戦艦ヤマト」を市場投入いたしました。

話題性の高い大型版權の強みや、迫力ある可動役物、音や光による演出を効果的に採り入れ、総合的な商品力の向上に努めたことにより、パチンコホールからも高い評価をいただき、当社発売のパチンコ遊技機としては過去最高の84千台を販売いたしました。

パチスロ遊技機では、新規則対応機の入替が上半期をピークに進行し、各メーカーから入替需要を見込んだ新機種が多数投入されました。当社におきましても上半期に新機種を投入しましたが、ホールの導入機種が特定の人気機種に集中したことや、当事業年度は1機種の新機種発売にとどまったことなどにより、販売台数が減少しました。

以上の結果、当事業年度の業績につきましては、売上高404億79百万円（対前期比2.7%増）、営業利益35億11百万円（同50.3%減）、経常利益35億91百万円（同49.8%減）、当期純利益20億58百万円（同52.2%減）となりました。

売上高は、下半期の「CR宇宙戦艦ヤマト」以降の機種につきまして、ほぼ本体（枠付）での販売となったことにより、前期を上回りました。一方、損益面では上半期の販売不振などによる大幅な損失を受け、前期を下回る結果となりました。

事業の部門別の状況は次のとおりであります。

### ■パチンコ遊技機事業

パチンコ遊技機事業につきましては、上半期は「CRかつぱ伝説」（平成19年4月発売）、「CRプロジェクトA」（平成19年6月発売）、「CR島倉千代子の千代姫七変化」（平成19年7月発売）、「CRジュマンジ」（平成19年9月発売）などを市場に投入いたしました。

下半期は、「CR宇宙戦艦ヤマト」（平成19年11月発売）、「CRエイリアンVSプレデター」（平成20年1月発売）、「CR千昌夫〜北国の春〜」（平成20年2月発売）などを市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は146千台（対前期比18.8%減）、売上高は400億77百万円（同4.4%増）となりました。

### ■パチスロ遊技機事業

パチスロ遊技機事業につきましては、「パチスロ ブルース・リー」（平成19年6月発売）を市場投入し、販売台数は1千台（対前期比58.2%減）、売上高は4億2百万円（同60.4%減）となりました。

### 次期の見通し

パチンコ参加人口の長期的な減少傾向のもと、パチンコホールは収益性、資金面ともに厳しい状況が続いております。加えて、昨今の信用収縮などの影響から金融機関の融資姿勢も硬化しており、パチンコホールの新台入替におきましても、話題性が高く、高水準の稼働が見込める遊技機を厳選して導入する傾向は、当分続くものと見込んでおります。

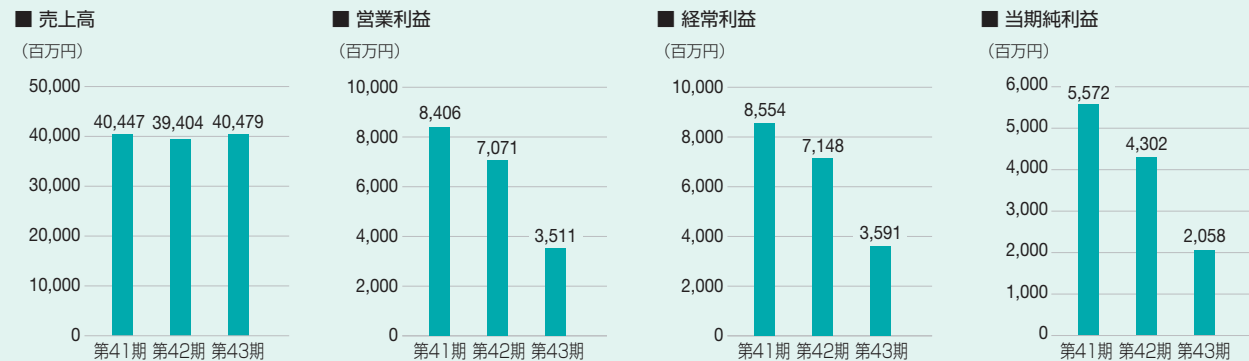
平成21年3月期上半期のパチンコ遊技機につきましては、5月上旬よりホール納品を開始しました「CR鞍馬天狗」の販売が概ね順調に推移しております。しかし、本年7月の北海道洞爺湖サミットおよび関連会合の開催に伴い、5月下旬から7月下旬頃にかけて、全国各地のパチンコホール業界団体が、各都道府県単位にて遊技機の入替自粛を予定しております。

このため、パチンコホールへの導入期間の短縮や、競合機種の発売時期が集中するなどの影響が想定されますが、過去に販売実績のあるシリーズ機種をはじめ、商品性の高い遊技機をベストのタイミングで投入できる体制づくりを進めてまいります。

一方、下半期につきましては、大型版權機種の続編を含め、徹底的に映像、音響、迫力を追求した話題性の高い機種の開発を鋭意推進しております。このような取り組みにより、各販売商戦においてパチンコホールから高い評価を頂けるようなトップクラスを狙える機種を投入してまいります。

パチスロ遊技機につきましては、前年度は本意ながらヒット機種を投入できませんでしたが、新規協力会社を含む、抜本的な開発体制の見直しを図り、ヒット機種の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

### 財務ハイライト



■ 貸借対照表

単位：百万円

科目	当事業年度 (H20.3.31現在)	前事業年度 (H19.3.31現在)	科目	当事業年度 (H20.3.31現在)	前事業年度 (H19.3.31現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>35,611</b>	<b>32,087</b>	<b>流動負債</b>	<b>10,811</b>	<b>6,035</b>
現金及び預金	21,303	22,845	買掛金	9,226	3,451
有価証券	1,101	5	未払金	698	802
受取手形	4,891	3,038	未払法人税等	314	1,063
売掛金	3,972	3,293	賞与引当金	316	298
たな卸資産	2,364	1,781	その他	256	420
繰延税金資産	438	269	<b>固定負債</b>	<b>1,283</b>	<b>1,063</b>
その他	1,539	853	退職給付引当金	530	369
<b>固定資産</b>	<b>14,466</b>	<b>12,484</b>	その他	752	693
<b>有形固定資産</b>	<b>10,016</b>	<b>9,239</b>	<b>負債合計</b>	<b>12,094</b>	<b>7,099</b>
建物	2,584	2,650	<b>純資産の部</b>		
機械及び装置	1,643	554	<b>株主資本</b>	<b>37,973</b>	<b>37,381</b>
工具器具備品	1,261	1,509	資本金	3,281	3,281
土地	4,363	4,363	資本剰余金	3,258	3,258
その他	163	160	利益剰余金	31,433	30,841
<b>無形固定資産</b>	<b>228</b>	<b>242</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>10</b>	<b>90</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,222</b>	<b>3,002</b>	その他有価証券評価差額金	10	90
投資有価証券	287	318	<b>純資産合計</b>	<b>37,984</b>	<b>37,472</b>
長期前払費用	3,098	2,047	<b>負債・純資産合計</b>	<b>50,078</b>	<b>44,571</b>
繰延税金資産	538	341			
その他	298	295			
<b>資産合計</b>	<b>50,078</b>	<b>44,571</b>			

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

単位：百万円

科目	当事業年度 (H19.4.1~ H20.3.31)	前事業年度 (H18.4.1~ H19.3.31)
<b>売上高</b>	<b>40,479</b>	<b>39,404</b>
売上原価	25,436	20,832
<b>売上総利益</b>	<b>15,043</b>	<b>18,572</b>
販売費及び一般管理費	11,531	11,500
<b>営業利益</b>	<b>3,511</b>	<b>7,071</b>
営業外収益	136	136
営業外費用	57	60
<b>経常利益</b>	<b>3,591</b>	<b>7,148</b>
特別利益	34	94
特別損失	303	102
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,321</b>	<b>7,140</b>
法人税、住民税及び事業税	1,575	2,554
法人税等調整額	△312	283
<b>当期純利益</b>	<b>2,058</b>	<b>4,302</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当事業年度 (H19.4.1~H20.3.31)	前事業年度 (H18.4.1~H19.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,939	1,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,020	△3,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,461	5,582
現金及び現金同等物の増減額	△1,542	3,471
現金及び現金同等物の期首残高	22,845	19,374
現金及び現金同等物の期末残高	21,303	22,845

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

当事業年度 (H19.4.1~H20.3.31)

単位：百万円

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日 残高	3,281	3,258	30,841	37,381	90	90	37,472
<b>事業年度中の変動額</b>							
特別償却積立金の取り崩し			—	—			—
別途積立金の積立て			—	—			—
剰余金の配当			△1,465	△1,465			△1,465
当期純利益			2,058	2,058			2,058
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					△80	△80	△80
<b>事業年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>592</b>	<b>592</b>	<b>△80</b>	<b>△80</b>	<b>512</b>
平成20年3月31日 残高	3,281	3,258	31,433	37,973	10	10	37,984

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

設立 昭和41年10月1日  
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号  
 従業員数 367名  
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

## 役員

代表取締役社長 松元邦夫  
 取締役副社長 松元正夫  
 専務取締役 井上孝司  
 常務取締役 永田和政  
 取締役 松元恵子  
 取締役 辻田隆  
 社外取締役 坪本浩一郎  
 常勤監査役 近藤邦博  
 社外監査役 堀弘二  
 社外監査役 川添嗣夫

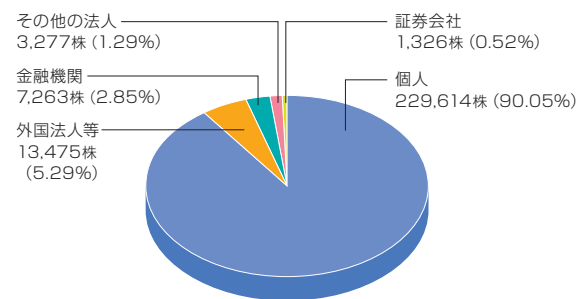
## 事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)  
 東京開発事業所  
 東京支店 横浜営業所 広島営業所  
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所  
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所  
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所  
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所  
 千葉営業所 京都営業所  
 埼玉営業所 神戸営業所

## 株式の状況

- 1) 発行可能株式総数 800,000株
- 2) 発行済株式の総数 254,955株
- 3) 株主数 7,152名

### 所有者別株主分布



### 4) 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
松元邦夫	95,560	37.48
松元正夫	65,626	25.74
釣谷香揚子	24,280	9.52
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・ インターナショナル・ビーエルシー	4,882	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,364	1.32
藤商事従業員持株会	2,720	1.07
松元恵子	2,600	1.02
バンクオブニューヨーク・シーエム クライアントアカウントジエイビーアルティアイ エスジーエフイーエー	2,118	0.83
エイチエスピーシー ファンドサービス スパークスアセットマネジメントコーポレイテッド	1,986	0.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,324	0.52

## トピックス

### パチンコ遊技機 新枠生産ライン稼働開始

平成19年11月に発売しました「CR宇宙戦艦ヤマト」以降、日産4,000台対応のパチンコ新枠ラインによる生産を行っております。新たな生産設備のもと、生産の効率化・品質向上に向けた継続的な改善活動を推進しております。



### 社会貢献活動への取り組み

藤商事では、良き企業市民として地域社会との良好な関係を築くため、積極的に社会貢献活動に取り組んでおります。

#### ■ 環境保全活動

平成19年11月に関東地区の従業員総勢83名が「荒川クリーンエイド」へ参加し、荒川河川敷の清掃活動を行いました。

#### ■ 災害被災者支援活動

平成20年5月2日から3日にかけて発生しましたミャンマー連邦におけるサイクロン災害および、5月12日に発生しました中国四川省大地震災害に対して、従業員からの募金を含む災害義援金を日本赤十字社の窓口を通じ、被災地への支援を行いました。

## 株主メモ

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

## ホームページ紹介

藤商事のホームページでは、皆様楽しんで頂けるよう、様々な情報をご提供しています。



ホール様専用サイトでは、支援活動の一環としてPOP素材提供などを行っています。

携帯メディアを使った情報サービスも行っています。藤商事公式携帯サイトでは、多彩なコンテンツを公開中!!

CONTENTS  
 ・アプリ ・着うた ・待受画像 ・待受アプリ  
 ・着メロ ・着ボイス ・動画 ・待受フラッシュ



【サービス利用料】月額¥315(税込) ※「iモード」および「iアプリ」はNTTドコモの登録商標です。 ※EZアプリ(BREW®)

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417  
(その他のご照会) ☎0120-176-417

ホームページ http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店



# BUSINESS REPORT



<http://www.fujimaruken.co.jp>



この冊子は環境に優しい大豆インキを使用しています。  
再生紙を使用しています。